

Bグループは「恐懼、犬馬の微衷を捧げた」ということになる。

考察

以上のことから考察できることは以下のようなことである。

(21)節の末尾と(22)節の初めに、ほぼ同じ意味の2句が配置せられて互文を形成し、自らの気持ちを強調できるようにしたのである。ここに絶望的状况にあつてなお(詩をもって仕える)詩臣道真の矜持(プライド)を見て取ることができる。

(須藤 修一)

484 叙意一百韻 (23)

177句から184句

本文

平仄

182 181 180 179 178 177

國家恩未報
溝壑恐先填
潘岳非忘宅
張衡豈廢田
風摧同木秀
燈滅異膏煎

●○○●●
○○●○○
○○●○○
○○●○○
○○●○○
○○●○○